令和6年度 南条小学校スクールプラン



南越前町教育基本方針

人と文化を育むまちづくり ~ 自ら学び考え行動し、

ふるさとを愛する人づくりの推進~

南越地方教育委員会連絡協議会 学校教育推進計画 基本方針 一人一人の個性が輝く、 地域の未来を担う人づくり

- ○「個性を引き出す」教育
- ○「学びを楽しむ」教育
- ○「ふるさとの教育」

【教育目標】

ともに学び、豊かな心で未来を切り拓く子の育成



【目指す児童像】

進んで学ぶ子 思いやりのある子 力いっぱいやりぬく子



【目指す教職員像】 地域・学校に関わるすべ

ての人の「命」と「人権」と 「願い」を大事に、真心と 情熱をもって、南条の子ど もたちをチームで育む教 職員団

- ・教職員個々の良さを生かす
- **・学び続けるチャンスを生かす**



【目指す学校像】

児童が通いたい学校 教職員が働きたい学校 保護者や地域に頼りにされる学校



重点目標

- 1 確かな学力
- ◎基礎基本の定着
- ○わかる喜びを引き出す授業づくり
- ○学習の習慣化
- ○読書活動の充実

2 豊かな心

- ◎道徳教育・人権教育の充実
- ○命の重みと大切さを感じる活動
- ○教育相談や特別支援教育の充実
- ○芸術・文化的な活動の推進

3 健やかな体

- ◎基本的生活習慣の育成
- 「早寝、早起き、朝ご飯」
- 「睡眠時間の確保」
- ○健康教育・食育の推進
- ○安全教育・防災教育の充実

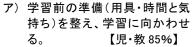
4 コミュニケーション力

- ○傾聴 「良い聴き方」
- ○伝達力の向上「良い話し方」
- ○対話を通じて、認め合い、高め合い

5 開かれた学校づくり

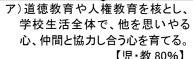
- ◎家庭・地域・関係機関との連携
- ○意図や思いを伝える情報発信
- ○地域団体・施設と連携したふるさ
- と教育

具体的な取組



- イ) 学年や個に応じた学習の習慣 を確立する。 【児・教 90%】
- ウ)言語活動を通して、主体的に思 考し表現する授業づくりに取り組 む。 【教90%】
- エ)確かな学力をつけるために、タ ブレット端末や電子黒板等の ICT機器を効果的に活用する。
- 【教 90%】 オ)朝読書や週末読書等、学年や

4) 朝読書や週末読書寺、字年や 個に応じた読書習慣を身に付け させる。 【児・保 80%】



- イ) 一人一人の長所を認め合い、 自己有用感を高め、自他がかけ がえのない存在であることに気付 かせる。 【児・教80%】
- ウ) 自ら進んで挨拶し、「ありがとう」 や「ごめんなさい」を素直に言う子 を育てる。 【児・教・保80%】
- エ)不登校やいじめの未然防止・早 期発見・早期解決に努める。

【児・教 80%】

ア) 保健指導や給食指導を通して、 家庭との連携を図りながら、望 ましい生活習慣を育成する。

【児・教・保80%】

- イ)食に関する指導を、給食時や他 教科と関連させるなど工夫して行 い、食の大切さについての理解を 深める。 【児・教80%】
- ウ)安全教育や防災教育を通して、 自他の安全意識を高める。

【児 80%・教 90%】

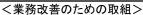
- ア) 児童が互いに聴き合える関係を つくり、話し手を見ながら、耳を傾 けてしっかりと話を聴くことができ るようにする。 【 児 80%】
- イ) 自分の思いや考えを話し合った り書いたりする場面を多く設定し、 伝え合う力を高める。【教 80%】
- ウ)対話する中で、知識の深まり、視野の広がり、他を認める寛容さを育む。 【児80%】
- ア) 定期的な学校公開と、ICT機器 の活用により、積極的に情報発信 を行う。
- イ)家庭と連携しながらデジタル・シ ティズンシップ教育を推進する。

【児・教 80%】

ウ)郷里を愛する心を育てるために ふるさと教育に取り組み、地域の 事を調べたり、地域の人材を積 極的に活用したりする。

【児・教 80%】

- エ) 個に応じた指導や支援を行うために、関係機関等と積極的に連携を図る。
- オ) 園・小・中の間での情報交換や 交流を行い、連携を深める。



- ・チームで取り組むことによる負担軽減
- ・会議・研修等の開催方法・内容の見直しによる短時間・効率化
- ・校務支援システム活用による事務処理の効率化
- ・一斉退勤日、退庁目標時刻の徹底